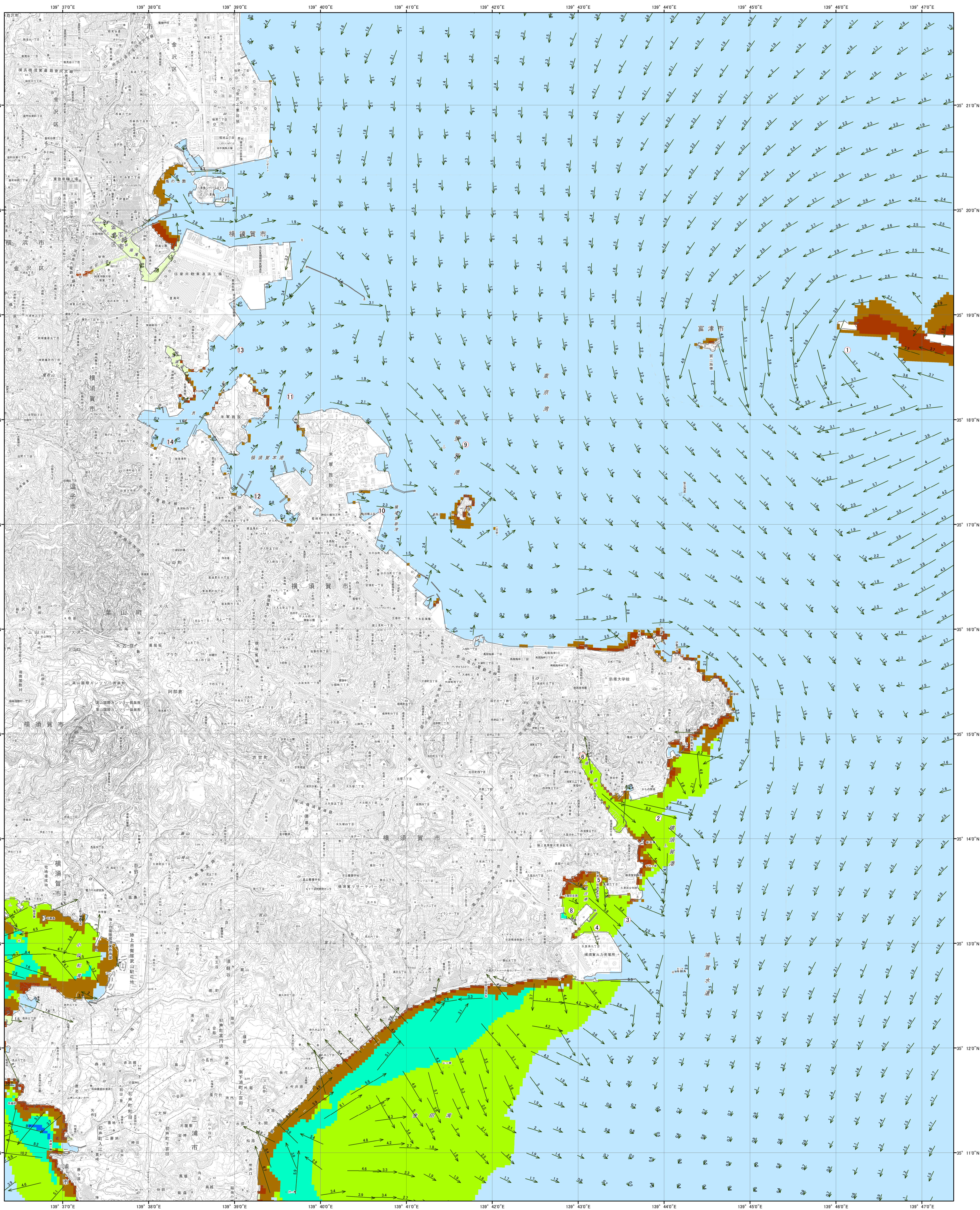


横須賀港 津波防災情報図 (引潮図)

計算条件: 最低水面(零位)
 隆起量: 平均-9cm(-10cm ~ -7cm)
 Z₀: 1.00~1.15m
 備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



1:26,000
 座標系:メルカトル図法
 測地系:世界測地系(WGS84)

凡例

最大水位低下

- 5~最大5.5m
- 3~5m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満
- 干出域
- 露出域

経時変化図出力点
 (図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

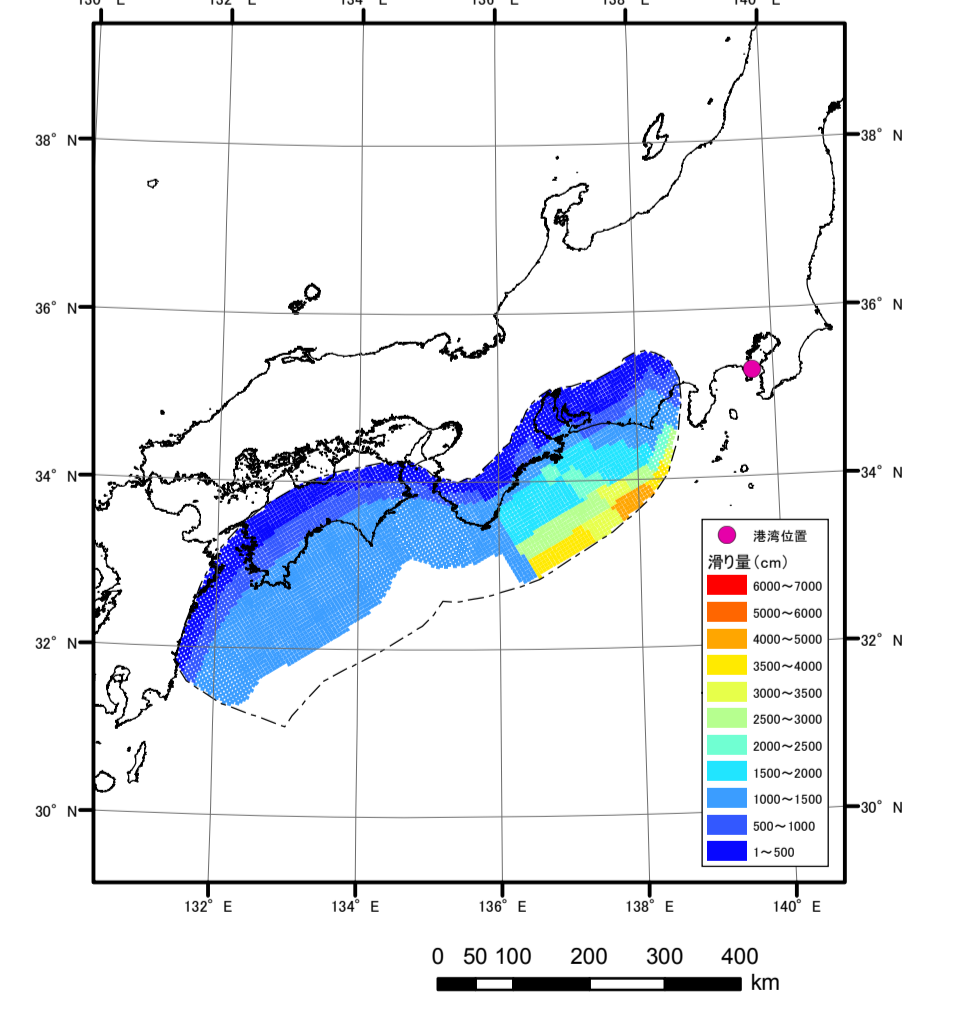
水位、流向・流速経時変化図

引潮時最大流 [knot]

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断面モデル



ケース①「駿河湾～紀伊半島沖に『大すべり域+超大すべり』」

断面面積 S (km ²)	140,000
地震モーメント M ₀ (N·m)	6.1 X 10 ²⁷
平均すべり量 D (m)	10.3
モーメントマグニチュード M _w	9.1

本断面モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会(第二次報告)(平成24年8月29日発表)」により公表されたものである。
 使用した断面モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)及び数値地図25000(地図画像)
 (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日)

0 1,000 2,000 4,000 6,000 8,000 m